



# 道徳だより

美浜町立野間中学校  
平成 25 年 9 月 27 日号  
生徒会スローガン  
「友達の輪・和・話」

## 〈本校の道徳教育の重点目標です！〉



人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を一貫して失わず、国家・社会・郷土の発展に主体的に努める人間を育成するための基礎としての道徳性を養う。

- ① 道徳的心情と判断力を高めるとともに、望ましい日常生活の習慣を育成する。
- ② 自己の属する集団の向上に努めようとする意欲と実践力を育成する。



## 今年も野間中シンポジウムを開催しました

9月20日(金)は、「学校公開日」でした。今年も5時間目に、野間中学校独自の取り組みである、「野間中シンポジウム」を開催しました。生徒会スローガン「友達の輪・和・話」の思いを含め、『みんなで一緒に～輪・和・話～野間中シンポジウム』と題し、生徒・教師・保護者・地域がみんなと一緒に道徳のテーマについて考え、意見交換を行いました。学年ごとに分かれた各会場では、様々な意見交換がされ、大変有意義な会となりました。本号では、各学年のシンポジウムの様子を紹介します。

## 1年生

法やきまりについて考えよう ～法やきまりって何であるの？～

### ■司会

生徒：中野 甚八くん(1B)

教員：森下 功一

### ■シンポジスト

生徒：牧之瀬佳南さん(1A)

岩川 優太くん(1C)

教員：清野 絢

保護者：中須賀 敬さん(PTA副会長)

地域：川上 英男さん(教育委員)



1年生は、事前に「きまり」についてアンケートをとり、それをもとに話し合いを進めました。シンポジストとして参加していただいたゲストのお二人から、ご自身の中学生時代の学校のきまりや、日本とは違う外国の法律などについてもお話をいただきました。参観していただいた保護者の方からも意見をいただき、有意義な時間となりました。主に以下のことについて考えを深めることができました。

- ・きまりはなぜあるのか
- ・ただきまりを守るのではなく、そのきまりの意味を考えることが大切であること
- ・きまりを変えていくこともできる

# 2年生

人は、なぜ勉強するのか ～自己の未来を見通して～

## ■司会

教員：坂野友一

## ■シンポジスト

生徒：川口実咲さん(2A)

沖田成惇くん(2C)

教員：新海未知子

保護者：谷川美子さん(P T A母親代表)

地域：石田さへ子さん(町教育委員)



2年生(97名)は、メインテーマ『人は、なぜ勉強するのか』、サブテーマとして、「自己の未来を見通して」をもとにシンポジウム(意見交換・討論会)を実施しました。生徒2人、教員1名、P T Aの代表1名、地域の代表1名の方々から、それぞれの思いや考えを発表していただきました。その発表に対する質疑応答も活発に行われました。また、シンポジスト以外の生徒からも意見がでました。このシンポジウムを通して、生徒一人一人が自己の将来を見据えて、勉強することへの意味や意義について考えることができました。シンポジストの5人の方々に感謝しています。また、ご参観いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

# 3年生

生きがい ～自分探しの旅～

## ■司会

生徒：阪堂絵里子さん(3B)

教員：赤間 昭

## ■シンポジスト

生徒：田中大翔くん(3A)

前田潤也くん(3B)

東 美海さん(3C)

教員：笠波史城

保護者：近藤豊光さん(P T A会長)

地域：山本せつ子さん(社会教育委員)



今年で、3回目をむかえた野間中シンポジウムです。3年生ということもあり、「人生を豊かにするためには、何が必要なのか」という難しいテーマで話し合いました。お金、衣食住、など物質的なものを豊かさの尺度にする意見がある反面、友達や家族など、心のつながりを豊かさの尺度にする人が多く、精神的な成長をみることができました。人生の先輩、大人のシンポジストからは、若い頃の自分に比べ、深く考える野間中生に驚きの声があがっていました。長年の経験から、豊かな人生には「生きがい」となるような目標が必要であること。また、「生きがい」は、時と共に変わっていくことなど、貴重なご意見をいただき、有意義なシンポジウムとなりました。